

ペット同行避難を行うための事前チェックリスト

2025年版

1 | 飼い主自身の身の安全を確保する

- 災害発生時の対応について、家族で話し合いをしている。
- 避難場所や避難経路の確認をしている。
- 飼い主とペットの分の防災用品をそれぞれ準備している。

2 | ペットが避難所で生活できるよう準備する

- ペットが他の人や動物に慣れており、仲良くすることができる。
- ケージに慣れており、飼い主と一緒に避難行動をとることができる。
- トイレを決まった場所で行うことができる。
- マイクロチップや犬鑑札、迷子札などを装着することで、ペットの身元証明ができています。
- 狂犬病予防ワクチンや混合ワクチンなどの予防接種を済ませている。
- ノミやダニ、フィラリアを予防するための処置を済ませている。

3 | ペットのための物品を備えておく

- ペットフードや水（最低でも5日以上）などを備蓄している。
- 療法食や薬の必要な分量を備蓄している。
- 避難時用の予備食器やリード、ケージやキャリーバックなどを準備している。
- トイレ用品（ペットシートや猫砂、新聞紙やフン取り用ポリ袋など）を備蓄している。
- ペットの情報をまとめた防災手帳などを準備している。
※市ホームページに参考資料があります。
- タオル、ブラシ、ウェットタオルや清浄綿など、ペットの体を衛生的に保つための物品を準備している。

4 | ペットと同行避難するための準備をする

- ペットと一緒に避難経路を歩いてみる。
- マイクロチップの登録情報や、犬の登録情報を最新のものに更新している。